



グリーン調達ガイドライン  
(第9版)

2026年 3月

愛三工業株式会社

## 目次

1. はじめに -----	1
2. 基本理念 -----	2
(1) 経営理念	
(2) CN環境方針	
(3) グリーン調達方針	
3. 取引先様へのお願い事項-----	3
グリーン調達ガイドラインでの要請内容一覧表	
(1) 環境マネジメントシステムの構築・整備	
(2) 環境負荷物質の管理と削減	
(3) 取引先様における生産段階での環境改善への取組み	
(4) LCAへの対応	
(5) 物流に関わるCO <sub>2</sub> 排出量、梱包・包装資材の低減	
(6) 水使用量の低減	
(7) 自然共生社会の構築	
4. 用語集 -----	8

### 【別紙】

1. 環境マネジメント調査表
2. 材料成分・環境負荷物質調査フロー
3. 物流CO<sub>2</sub>排出量、梱包・包装資材使用量

## 1. はじめに

社会の環境に対する意識が高まる中で、CO<sub>2</sub>排出量の低減による地球温暖化防止、廃棄物の削減とリサイクルによる循環型社会の構築、環境負荷物質の管理による環境汚染の防止に加え、自然保護や生物多様性といった、より一層環境に寄り添った事業活動が求められております。このような環境意識の高まりに合わせ、弊社はでは、2050年までのカーボンニュートラル達成を見据え、2030年までにライフサイクルCO<sub>2</sub>の30%減（2019年度比）を目指しています。

持続可能な循環型社会の構築に向けては、中期経営計画において2030年を目標とした環境目標を策定し、製品のライフサイクル全体で環境負荷を評価するライフサイクルアセスメント（LCA）の視点で、CO<sub>2</sub>削減の取組みを加速させています。具体的には、温室効果ガス（GHG）排出量（Scope1/2/3）の現状把握をし、目標値（中間目標を含む）を定め、削減活動を進めてまいります。この取組みには、取引先様にも同様な活動のご協力が不可欠になります。取引先様に置かれましては、弊社の理念と今回の改定の趣旨をご理解いただいた上で、ご協力をお願い申し上げます。

愛三工業株式会社

カーボンニュートラル推進部

調達本部

### カーボンニュートラル目標値（2030年）

区分	項目	目標値
 <b>Carbon Neutral</b> (カーボンニュートラル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場CO<sub>2</sub>削減</li> <li>クリーンエネルギー活用</li> <li>サプライチェーン全体のCO<sub>2</sub>削減</li> </ul>	Scope1&2 2019年比 ▲60%
		Scope3 2019年比 ▲28%
		再生可能エネルギー 55%
		創エネルギー 5%
 <b>Circular Economy</b> (サーキュラーエコノミー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品設計の革新 (材料置換、小型・軽量)</li> <li>廃棄物ゼロエミッション推進</li> </ul>	廃棄物ゼロエミッション 2019年比 ▲5% (原単位)
 <b>Nature Positive</b> (ネイチャーポジティブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな自然</li> <li>生物多様性の保全・再生</li> </ul>	水使用量 2019年比 ▲5% (原単位)
		水リスク(量・質) 最小化
		自然と共生する工場 5工場
 <b>新分野技術</b>		知的財産蓄積 500件
		産官学連携 25件

## 2. 基本理念

### (1) 経営理念

1. お客様第一の心で商品を創り
  2. 知恵と技術で高品質を実現し
  3. 人を大切にする明るい職場を築いて
- 企業の繁栄と豊かな環境作りで社会に貢献する

### (2) CN環境方針

#### [環境理念]

地球環境に配慮した企業活動を通じ、人と自然が調和した豊かな環境、環境負荷のない持続可能な社会の実現に貢献します。

#### [CN環境方針]

- ① 愛三グループの事業活動・技術を通じて、バリューチェーン全体の温室効果ガスの削減に取り組み、カーボンニュートラルの実現を目指します。
- ② ライフサイクルにおける資源循環を推進し、サプライチェーン全体で省資源化・再資源化に取り組み、サーキュラーエコノミーの実現を目指します。
- ③ 地域社会と協調・融和する環境活動を展開し、豊かな自然や生物多様性の保全と再生に努めます。
- ④ 環境マネジメントシステムのもと環境リスクの低減、環境汚染の未然防止に努め、環境に関する情報開示や環境法令を順守します。
- ⑤ 従業員一人ひとりの啓蒙・教育活動を推進し、環境意識を高め、環境課題に積極的に取り組む社内風土の醸成と人材を育成します。

### (3) グリーン調達方針

愛三工業(株)の製品に使用する材料、部品および副資材を取引先様より調達するにあたっては愛三工業(株)のCN環境方針に基づいて、環境に配慮している取引先様から環境負荷の少ない材料、部品および副資材を調達する。

## 3. 取引先様へのお願い事項

グリーン調達のねらいは商品の開発や、工場の生産での環境保護活動を推進するために、環境に配慮した取引先様から環境負荷の少ない材料、部品および副資材の調達に努め、循環型社会の構築に寄与することにあります。

そのため、取引先様に以下のお願いをさせていただきます。

グリーン調達ガイドラインでの要請内容一覧表

No.	項目	各取引先様					
		製品・部品	材料・副資材	梱包・包装資材	工事・清掃・造園	物流	
(1)	環境マネジメントシステムの構築・整備	○	○	○	○	○	
(2)	環境負荷物質の管理と削減	環境負荷物質および材料化学成分の情報の提供	○	○	○		
		化審法・申告物質リスト禁止物質の非含有証明書の提供	○	○	○		
		使用禁止物質の非含有および削減物質の代替化	○	○	○		
		弊社内にて使用する原材料・副資材等の管理		○		○	
		梱包・包装資材の情報の提供			○		
(3)	取引先の皆様における生産段階での環境改善への取組み	エネルギー使用量の低減	○	○	○	○	○
		CO <sub>2</sub> 排出量の低減	○	○	○	○	○
		P R T R*対象物質排出量の低減	○	○	○	○	○
		V O C*排出量の低減	○	○	○	○	○
		廃棄物発生量の低減	○	○	○	○	○
(4)	L C A*への対応	○	○			○	
(5)	物流に関わるCO <sub>2</sub> 排出量、梱包・包装資材の低減	当社からの委託物流における低減					○
		取引先様の納入物流における低減	○	○	○	○	○
(6)	水使用量の低減	○	○	○	○	○	
(7)	自然共生社会の構築	水使用量の把握、日常改善による水使用量の低減	○	○	○	○	○
		生物多様性への最大限の配慮と自然共生社会の構築に向けた取組み	○	○	○	○	○

○：取組みのお願い

\*用語の解説は、8ページを参照願います。

## (1) 環境マネジメントシステムの構築・整備

部品、材料、副資材を納入される取引先様は、環境保全活動を組織的に管理推進し、環境影響の低減に向けた改善を継続的に実施していただくために、ISO14001を基本とした環境マネジメントシステムの構築・整備に努めていただくようお願いいたします。

すでに構築済みの取引先様におかれましては、運用の維持・レベルアップ・更新をお願いいたします。

なお、必要に応じて弊社が取引先様の活動状況を確認させていただくことがあります。この場合、調達担当部署・環境推進部署が資料提出・現場確認などをお願いし、ご希望により改善支援を行います。

### 弊社への提出書類と提出時期

提出書類		提出時期	提出先
環境マネジメントシステム調査表	別紙1	提出時期等は別途書面で連絡します。	調達担当部署

## (2) 環境負荷物質の管理と削減

各国の法制化にともない、環境負荷物質の規制は年々厳しさを増しています。

そのため、弊社では法令順守はもとより、環境に大きな影響を及ぼす可能性のある物質の使用、排出を削減するとともに、事業活動の計画段階で環境リスクの評価を実施し、環境負荷物質による汚染の予防に努めています。

取引先様におかれましても環境負荷物質管理の徹底をお願いいたします。

### ① 環境負荷物質および材料化学成分の情報の提供

部品・材料・副資材を納入される取引先様は、弊社が指定する化学物質および材料化学成分の情報を、提供していただきますようお願いいたします。

データ提供のフローは「材料成分・環境負荷物質調査フロー」(別紙2)を参照してください。

また、材料・副資材につきましては従来から実施しています「JAPIAシート」、「安全データシート」(SDS)を併せてご提出ください。

SDSは最新状態を保つため、法改正などにより記載内容が変更になった場合は、速やかに最新版を提出していただきますようお願いいたします。

### 弊社への提出書類と提出時期

提出書類	提出時期	提出先
JAPIAシート	提出時期等は別途書面で連絡します。	当社依頼部署
安全データシート(SDS)		調達担当部署

- ② 欧州廃車指令に関わる4物質(鉛・カドミウム・水銀・六価クロム)の非含有証明書の提供  
環境負荷物質のうち、欧州廃車指令に関わる物質については、  
非含有証明書(エビデンス)の提出をお願いします。

弊社への提出書類と提出時期

提出書類	提出時期	提出先
禁止物質の非含有証明書(エビデンス)	提出時期等は別途書面で連絡します。	当社依頼部署

- ③禁止物質の非含有および削減物質の代替化

弊社では環境負荷低減のため、部品・材料・副資材に含有することを禁止する「禁止物質」、製品に含有している場合に申告が必要な「申告物質」を愛三技術規格ASTA035で指定しています。

この規格に基づき、使用禁止・削減・管理を順守していただきますようお願いいたします。

なお、申告物質リストは、下記URLから取得願います。

<http://www.gadsl.org>

取引先様が社内で使用されている副資材につきましても弊社同様、使用禁止・削減・管理に努めていただきますようお願いいたします。

- ④弊社内にて使用する原材料・副資材等の管理

弊社より工事・清掃・造園を請け負う取引先様は、納入材料・持ち込み材料(設備に付帯する油剤、農薬などの薬剤を含む)に弊社で指定する「禁止物質」が含有されないようお願いいたします。

- ⑤梱包・包装資材への環境負荷物質の非含有管理と情報の提供

弊社の製品に使用する梱包・包装資材を納入される取引先様は、梱包・包装資材についても、環境負荷物質の使用禁止・削減・管理を順守していただきますようお願いいたします。また、弊社の要求がある場合は、要求に従い、納入梱包・包装資材に含有される化学物質の情報の提供をお願いします。

弊社への提出書類と提出時期

提出書類	提出時期	提出先
納入梱包・包装資材に含有される化学物質の情報	提出時期等は別途書面で連絡します。	生産管理部署

### (3) 取引先様における生産段階での環境改善への取組み

取引先様の事業活動におかれましても、環境パフォーマンス向上に努めていただきますようお願いいたします。

- ・エネルギー使用量の低減
- ・CO<sub>2</sub>排出量の低減
- ・P R T R 対象物質排出量の低減
- ・V O C 排出量の低減
- ・廃棄物発生量の低減

弊社への提出書類と提出時期

弊社への資料提出は不要です。取組み状況については、適宜確認させていただきます。
---

### (4) L C A への対応

弊社では製品・部品のライフサイクルにおける環境影響評価をL C A手法にて実施し、環境効率を指標として、環境配慮型製品の開発促進に努めています。

L C A 評価を実施するためには、弊社が及ぼす環境影響の把握だけでなく、サプライチェーンにおける環境影響の把握も必要です。

対象部品・原材料を納入される取引先様にはデータ提供をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いいたします。

\*特に新規採用部品・設計変更部品について、従来部品に対する環境負荷の変化を確認させていただく場合があります。

弊社への提出書類と提出時期

提出書類	提出時期	提出先
L C A 調査票	提出時期等は別途書面で連絡します。	調達担当部署

### (5) 物流に関わるCO<sub>2</sub>排出量、梱包・包装資材の低減

弊社では物流によるCO<sub>2</sub>排出量の低減および、梱包・包装資材の低減を推進していきます。

取引先様におかれましても、物流における環境取組みをお願いいたします。

#### ① 当社からの委託物流における低減

製品および部品の物流をお願いしている取引先様は、当社委託物流により発生するCO<sub>2</sub>排出量の実績および原単位となる指標(燃料使用量・走行距離・燃費など)の把握をお願いいたします。

\*必要により、実績のご報告を依頼させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

弊社への提出書類と提出時期

提出書類		提出時期	提出先
物流CO <sub>2</sub> 排出量、梱包・包装 資材使用量	別紙3	提出時期等は別途書面 で連絡します。	生産管理部署

② 取引先様の納入物流

部品・原材料・副資材を納入する取引先様は、当社への納入物流におけるCO<sub>2</sub>排出量の低減への取組みおよび、梱包・包装資材低減活動にご協力お願いします。

(6) 水使用量の低減

中長期的には「水資源枯渇」が重要な課題になりつつあります。

弊社では「水使用量」の低減を推進しています。取引先様おかれましては、水使用量の低減を推進するために下記の取組みをお願いします。

- ・水使用量の把握（グローバルでの水使用量の把握）
- ・各国各地域の水環境事情を考慮し、水使用量低減の推進  
（日常改善による各種取組み等）

弊社への提出書類と提出時期

弊社への資料提出は不要です。取組み状況については、適宜確認させていただきます。

(7) 自然共生社会の構築

弊社では自然への配慮は企業活動の前提であるとの認識のもと、自然保護や生物多様性保全の重要性から、自然共生社会の構築に取り組んでいます。取引先様におかれましても、生物多様性に対して、最大限ご配慮いただき、自然共生社会の構築に向けた取組みをお願いします。

① 生物多様性への影響を最小化した製品の開発・生産

- ・環境負荷(CO<sub>2</sub>、有害物質等)の低減に配慮した製品の開発・生産等

② 事業所における生物多様性の配慮

- ・環境方針への自然共生活動の織込み検討
- ・可能な範囲での自然の保全に取り組む地域、団体などとの協働・連携も含め、自然環境をよりよくする活動の実施  
例：植林・間伐などの緑化活動、河川美化活動等

弊社への提出書類と提出時期

弊社への資料提出は不要です。取組み状況については、適宜確認させていただきます。

#### 4. 用語集

- 申告物質リスト (GADSL (Global Automotive Declarable Substance List))  
自動車業界でグローバルに使用する「申告・禁止物質リスト」
- LCA (Life Cycle Assessment)  
生産から廃棄までの環境影響評価手法
- IMDS (International Material Data system)  
自動車を構成する部品の材料および含有物質情報を収集するためのシステム
- SDS (Safety Data Sheet)  
安全データシート
- PRTR (Pollutant Release and Transfer Register)  
環境汚染物質の排出・移動登録
- VOC (Volatile Organic Compounds)  
揮発性有機化合物
- GHS (Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals)  
化学品の分類および表示に関する世界調和システム
- JAPIAシート (JAPIA統一データシート)  
環境規制への対応のため、製品中に含有する材料・化合物の調査に使用する目的で、一般社団法人日本自動車工業会(JAMA)・一般社団法人日本自動車部品工業会(JAPIA)にて合意された帳票です。